

第1回 新穂地区防災円卓会議 ワークショップ

テーマ / 新穂地域の防災上の課題を把握しよう の主な意見 (意見総数 113件)

想定される災害種別と被害の内容 (意見数 64件)

【大雨、洪水】(意見数 43)

- ・(郷平町など)土地が低い地区では洪水の被害が発生し、水が引きにくい。
- ・大野川や新穂川などの河川や水路が多く、氾濫により住宅や農地に浸水する。
- ・(冠水で)道路と側溝(田)との境目が分かりにくくなり、事故につながりやすい。
- ・ダム決壊による鉄砲水が心配される。
- ・避難所を含む集落全域が冠水した(下新穂)。避難所がなく不安。
- ・冠水や土砂崩れで道路が通行止めになり、住民や集落が孤立する。
- ・大雨による土砂災害(土砂崩れ(上新穂、湯上、田野沢、上大野など)、がけ崩れ)の発生が懸念される。

【火災】(意見数 10)

- ・空き家の火災が心配される。
- ・住宅密集地での強風時の大火が心配。
- ・消火のための水の確保が難しい。
- ・消防署が遠く、消防車の到着に時間が掛かる。

【地震】(意見数 9)

- ・地震によるダム決壊で鉄砲水の発生が心配。
- ・地震による老朽住宅などの倒壊。
- ・地震で集落の避難所が崩れないか心配。
- ・地震による土砂崩れ、火災が心配。

【津波、その他】(意見数 2)

- ・加茂湖周辺で津波の被害が心配される。
- ・停電や断水の発生が心配される。



新穂地域特有の防災上の課題 (意見数 49件)

【情報】(意見数 18)

- ・情報弱者はインターネット経由の情報などを入手しにくい。
- ・全地区に避難勧告が出たが、どこが危険でどう動いたら良いかわからない。
- ・集落から地区住民への連絡方法をどうするかが課題。
- ・通行止めや浸水など周辺の情報が分からない。
- ・公共放送(NHK)による雨雲レーダー等のリアルタイム情報をテレビで流してほしい。
- ・避難勧告を知らない人がいた。情報はもっと防災スピーカーで流すなどしてほしい。

【日ごろの心構え、体制】(意見数 9)

- ・集落長など集落役員が災害対応に不慣れで、どうすればよいかわからない。
- ・昼間は役員を含む若い人がいなく、避難所対応などの共助がしにくい。
- ・災害が起きた時の(市の)受付窓口がバラバラ。
- ・就学時間外の小中高校生の安全確保が課題。
- ・ダム、川が氾濫する目安(等の情報)を知っておく。

【避難ルート、避難方法】(意見数 7)

- ・一時避難所から指定避難所への避難ルートが分からない。
- ・道路の冠水や橋の通行止めなどで、避難所まで避難できない。

【避難場所】(意見数 6)

- ・一時避難所が浸水の懸念がある。
- ・一時避難所にも備蓄物資を置くべき。
- ・(指定)避難場所がトキのむら元気館だけでなく、別の場所も利用すべきではないか。
- ・避難場所はどこが良いか災害によって違うので見当がつかない。

【要援護者】(意見数 6)

- ・高齢者や一人暮らしの住民が多く、高齢者の避難方法を決めていない。
- ・一人暮らしのお年寄りが多く、連絡体制に問題がある。
- ・集落ごと、地域ごとに避難困難者の支援プラン、名簿等作成し共有しておくことが必要。
- ・災害弱者の方に対する救助をする地区の担当の方が、日中であれば勤務中で救助できない。

【その他】(意見数 3)

- ・河川内に立木が生えていて危険。
- ・消防設備が関係者以外使用できない。